

医療介護総合確保区域

- 地理的条件, 人口, 交通事情その他の社会的条件, 医療機関の施設及び設備並びに公的介護施設等及び特定民間施設の整備の状況その他の条件からみて医療及び介護の総合的な確保の促進を図るべき区域
- 二次医療圏(4圏域)及び高齢者福祉圏域(7圏域)を念頭に置きつつ, 4圏域として設定

在宅死亡率が県内で最も少ない。



宮城県医師確保PRキャラクター
「ドクターむすび丸」

人口10万人当たりの看護師数が県内で最も少ない。

大崎・栗原圏

石巻・登米・気仙沼圏

仙台圏

仙南圏

人口10万人当たりの医師数が県内で最も少ない。

人口10万人当たりの医師, 看護師数は圏域全体では県平均を上回っているが, 仙台市以外では大きく下回っている。